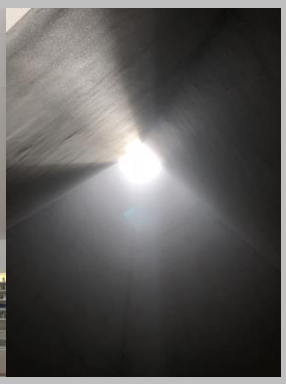
08.ポーラレゴ美術館

　カスカイス地区に三角錐が 2 つ立ち並んでいる印象的な美術館がある。
ソウト・デ・モウラが設計したこの美術館は赤色と黄色の塗料で着色されたコンクリートを纏っており、原住民族の古い家屋のような、土着的な建物だ。
館内に展示されている作品はポーラレゴが作り上げた童話的なイメージの中に意地の悪い鋭さを与え、悪意ある支配・自然の秩序の破滅を強調している。
建物そのものは、お互いにつながる部屋に細分され、一時的な展覧会を収容するより高い中央の部屋の周りに配置されています。建物にはショップ、庭にオープンするカフェエリアがあり、破壊的な印象の展示品とは対象的に風景、地域の中に溶け込んでいる印象を与える。

外観でインパクトあるこの三角錐は先端が天窓となっており、館内に心地よく光が差し込み時間を忘れさせてくれる空間となっている。
異質な色をした美術館ではあったが、周辺の赤茶色のスペイン瓦の建物と連続しており、風景の一部として溶け込んでいた。



成木　俊介